

## 令和 6 年度 第 2 回 生産管理WG 議事要旨

I. 日 時: 2024(R6)年6月 14日(金) 13:00~14:30

II. 場 所: (一社)日本木造住宅産業協会 6階会議室+オンライン(ZOOM)開催

III. 出 席 者: (敬称略、順不同、※印は ZOOM 参加): 下線は欠席

リーダー: 未定 主査: 秋山(東洋大学名誉教授)

メンバー: 秋本(住友林業株)、※杉山(ポラテック株)、内山(株エー・エス・デー)、鎌田(株アールシー17)、※工藤(近藤建設株)、※折笠(株エー・エス・デー)佐々木(株LIXIL)、清田(株エヌ・シー・エヌ)、氏居(新進建設株)小川(株細田工務店)、原口(住友林業株)、後上(株カナイ)、小山(株ユニバーサルホーム)※市川(株ナイス)、今倉(ジャパンホームシールド株)、浜本(福井コンピュータアーキテクト株)小山(株アンドパッド)、高島(株アンドパッド)

事務局: 鈴木、松澤

(合計 11名)

## 【報告・議事事項】

## 1. 前回議事録の確認 (資料1)

・読み上げ省略、修正意見無し。

## 2. 生産技術委員会 YouTube コンテンツ 5.31 (資料2)

- ・「施工管理チェックポイントマニュアル解説」について、今まで YouTube 視聴を会員限定公開にしてありましたが、4/12 より、一般公開へ切り替えたところ、4 月 395 回、5 月 110 回と、それまでの月平均、12.1 回/月から大幅な伸びを示している。引き続き、6 月の視聴回数も見ていきたい。

## 3. 建設キャリアアップの利用状況(2024.3.31 実績) (資料3)

- ・3 月 31 日までの集計データにより、  
技能者 140.4 万人  
事業者 17.8 万社  
「iphone のカードリーダー化」や「安価なカードリーダー」「カードリーダーのロギング機能追加」  
「キャリアリンク CCUS かんたんスタートキャンペーン」4 つのツール提供を開始  
利用拡大に向けた 3 か年計画(骨子案)を国交省資料として発表

## 4. 物流 2024 問題への対応 (資料 4)

(秋本委員長)

国交省「物流 2024 年問題への対応」より

○ 具体的施策として

- (1) 商慣行の見直し(契約内容、価格、納期、多重下請け、トラック標準的運賃の設定)

- (2) 物流の効率化  
(物流 GX、DX の促進、物流標準化の推進、軽トラック事業の適正運営  
高速道路のトラック速度規制(80 km)の見直し)→事故増大等、懸念も
- (3) 荷主・消費者の行動変容(消費者の意識改革、再配達削減に向けた取組み  
置き配、写真を撮って完了証明等)
- 標準的運賃及び、標準運送約款の見直しのポイント
  - (1) 運賃表改定 平均 8%の運賃引上げ等
  - (2) 下請け手数料の設定等
  - (3) 多様な運賃・料金設定等
- トラック G メンによる調査
- 2024 年度に向けた業界・分野別自主行動計画の作成状況
- 軽トラック事業者に対する規制的措施

(詳細は資料参照をお願いします)

2030 年度に向けた政府の中長期計画

2030 年度に見込まれる輸送力不足 34%を補うことを目標

※ 建築業界にも、影響を与えてくるので、対策が必要となってくる  
(秋山先生)

直接関係する話ではないが、丸の内の商業系建築では、路上駐車が目立たないようにするため、地域として事前にビル管理者と運送業者間で調整を行っている。たとえば、納品する時間の調整、共通の荷受け場設置などにより効果を発揮し、成功事例とされている。パナホームの開発した藤沢 SST では、ヤマト運輸の集配スペースを宅配業者が共用する等の取組があった。

#### 5. 木造大工及び、管理技術者(富士訓練教育カリキュラム)日程案決定 (資料 5-1.2.3)

12/2~12/20 講習内容を充実させ、昨年より、+1 日の 16 日(18 泊 19 日)

修了資格として、玉掛け、足場の組立、墜落制止用器具(フルハーネス)、携帯用丸のこ盤を取得できる。

#### 6. CCUS お報せ 3 月末 住団連資料(CS、安全、ストック) (資料 6)

カードリーダー 富士訓練センターに続き、三田に設置

#### 7. その他の SynQRemote(シンクリモート)紹介

木住協・認定事業推進委員会より、ビデオコミュニケーションサービスの「シンクリモート」を紹介されました。(大東建託採用)

(秋山先生)

「シンクリモート」資料の内容説明に、たとえば「現場監理」などの用語が出ているが、正確に工事監理業務について理解されたうえで解説されているのかやや心配である。リモート化による効率性のみ強調されて、工事監理の主旨である品質管理が行き届くのかどうか、確認が必要と思われる事務局にて、内容確認、慎重な対応をする。

8. 「木造住宅クレーム事例に学ぶ」書籍の内容検討について

(資料 7)

(在庫 520 冊)

法令関係変更で、使えなくなっている感は少ないが、そもそも最近は、ソフト面でのクレーム事例が多くなっているのではないか。

今後は、「施工チェックポイントマニュアル」他、書籍+αでの配布、HP での再周知等検討。

9. その他、令和 6 年度生産管理WGのテーマについて

- ・委員の皆様で、困っていること等、提案
- ・熱中症対策等での、富士通製ネッククーラー等、ツール系を次回、紹介予定。

以上

【次回 令和6年度第 3 回生産管理WG】

令和 6年 7月 12日(金)13:00~14:30 木住協 6 階会議室+ZOOM